



## 01 熊大建築展とは

「熊大建築展」とは、熊本大学工学部建築学科の3年生が毎年11月に開催される大学祭に合わせて行う学生有志のプロジェクトです。これまでに大学で学んだ知識や、私たち自身の建築に対する興味をベースに、「建築の世界の魅力や可能性」について考えていきます。テーマ決定から、展示物の制作、発表までのすべてを学生が担いながら、自らの建築に対する知識を高めると共に、来場者の方に建築の世界をもっと身近に感じていただけることを目的として活動しています。



## 02 建築展 2018 のテーマについて

今年のテーマは、「かけ算」。タイトルは「〇×△展 (ぼってん)」。

電話×カメラ、本屋×カフェ...など。今日、様々なモノとモノとのかけ算による複合化が進んでいます。コンパクトで効率的な社会になり、我々の暮らしが便利になったことは確かです。しかし、本当に豊かになったと言えるでしょうか？

そこで、無限の可能性を持つかけ算によって、機能を統合するだけでなく、新たな価値を生み出すことができないかと考えました。私たちの暮らす熊本で、建築の枠にとらわれず様々なかけ算による新しい空間を提案し、建築の持つ新たな可能性を追求することが今年の「〇×△展」の目的です。来場者の方の身近な建築や空間について、「かけ算」を使ってより楽しい空間にできないか、想像してみるきっかけになればと企画しました。

## 03 活動計画

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建築展2018 総務	子分分け決定	全体会議	全体会議	全体会議	全体会議	全体会議	全体会議
企画	企画	企画	企画	企画	企画	企画	企画
広報	広報	広報	広報	広報	広報	広報	広報
会場	会場	会場	会場	会場	会場	会場	会場
制作	制作	制作	制作	制作	制作	制作	制作
展示	展示	展示	展示	展示	展示	展示	展示
撤収	撤収	撤収	撤収	撤収	撤収	撤収	撤収

建築展の組織構成は、展長・副展長を中心に様々な業務ごとに役員を任命しました。展示では各班10人前後の6つの班に分け、班長・副班長を中心に活動を行いました。また、班員にも役割を与え、管理作業の効率化と責任をもって活動に取り組んでもらう工夫を目指しました。4月に発足し約半年間に期間の中で、長・中・短期の行程を計画し、活動を進めました。会議や進捗確認を何度も行い、スケジュールの修正や活動の反省へと活かしました。

## 04 活動内容

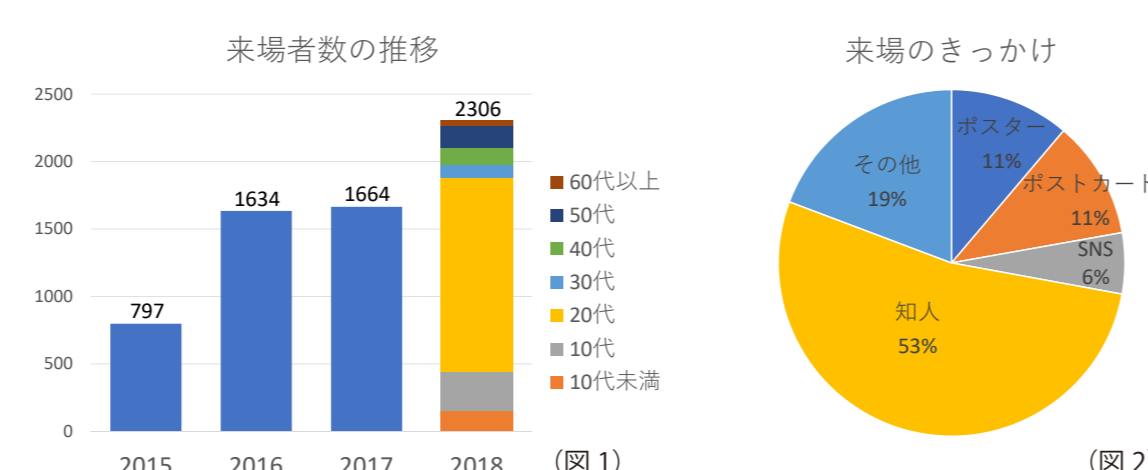


## 06 当日の様子



## 07 成果・反省

アンケートスペースを設置することで、来場者の感想と共に、様々なデータや反省点を集計することができました。



## 05 展示内容

### 農×住

将来、人口減少によって住み手の減ったマンションで農業ができたなら...

### ポスター・ポストカード

熊本の有名建築と海外の有名観光地をかけたユニークなデザイン。(熊本城×モンサンミッシェルなど) ポスターを3色で75枚。ポストカードを5パターンで計11色で4500枚作成。

### 天草×renovation / conversion / development

世界遺産「崎津集落」、廃校、「天草五橋」。かけ算による課題解決型の提案。

### 看板・オブジェ

ソーホースプラケットを使用した立体空間的な看板。県立大学との共同制作のオブジェは、ワッフル状の構造の森をイメージしたデザイン。

### まち×涼

不快指数日本一の熊本の街を涼しく。通町筋に川!?! 上通・下通も大改造!

### 会場計画

パーティションと半透明の布のみでゆるやかに仕切られた空間。多様な動線や視線の通り抜けを許容する、ゆとりを持った会場計画を目指した。

### 自然×憩い

熊本の豊かな山・川・海に、より自然を感じられる「憩い」の建築を提案。

### ストリート×カワイイ

熊本の身近な通りや商店街に、スケボア・アート・サークルなど、若者文化をかけ算。

### 熊本大学×駅

市電を延長して、熊大の南北を分断する道路をトランジットモールにする計画。